

道徳科 小学校第3学年 単元名：友だちとは (全3時間)

授業者：四万十市立東中筋小学校 小山 恵理香 児童生徒：4人

【単元のねらい】

友達にも自分にもそれぞれの特徴や良さがあることに気付き、友達と互いに理解し、信頼し、分かり合うことの良さについて考えることを通して互いに信頼し、助け合う友情を大切にする心情を育む。

【単元を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・友だちから、知らなかった自分に気付かされることもある。
- ・自分のよいところを積極的に伸ばしたい。
- ・互いに分かり合うことの大切さを学んで、もっと友だちのことを知りたいと思った。
- ・友だちが困っている時には助けたいし、力になりたいと思った。
- ・友だちとお互いを思いやることはすごいと思う。自分もそんな友だちをつくりたい。

単元構想

時	実施日(時限)	主題名・内容項目(関連項目)	教材名(出典)	主な学習活動
1	11月13日 (2時間目)	自分の特徴やよさに気付く 【個性の伸長 A(4)】	いいね! (廣済堂あかつき)	・自分の長所を知ることのよさを考える。 ・友だちのよいところを発表し合い、自分の特徴を見つける。 ・互いの長所を認め合うことのよさについて考える。
2	11月20日 (3時間目)	友だちと分かり合う 【友情・信頼 B(9)】	貝がら (廣済堂あかつき)	・教材を読んで、「ぼく」の気持ちを考え、話し合う。 ・「ぼく」と中山君の関わりについて考える。 ・友だちと分かり合うことの良さについて考える。
3	11月27日 (5時間目) (本時)	友だちとのきずな 【友情・信頼 B(9)】	森のげいじゅつてん (廣済堂あかつき)	・きつねとたぬき、それぞれが、お互いを思いやる気持ちについて考える。 ・本当の友だちとはどういうものかについて考える。 ・3時間を通して、「友だち」をテーマに考えたこと、気付いたことを意見交流する。

【主題名】友だちとのきずな 【友情・信頼】 B-(9)

【教材名】森のげいじゅつてん(廣済堂あかつき)

【本時のねらい】

きつねとたぬき、それぞれの思いについて考えることを通して、友だち同士きずなを共感的に理解し、互いに信頼し、助け合う友情を大切にす道徳的心情を育む。

【指導の要点】

きつねとたぬきがお互いを思いやっていた行為やその理由から友だち同士が助け合うことの素晴らしさを感じ取り、そんな友情を育んでいきたいという思いを引き出す。

【主題に関わる児童生徒の実態】

- ・困っている友だちに自然と手を差し伸べる優しい関わりができる。
- ・学年関係なく遊び、下級生を思いやる姿も見られる。
- ・早く課題ができる子どもは決まっており、助けたり助けられたりする関係ができていて、それが当たり前になっているところも見受けられる。
- ・トラブルはほとんどないが、お互いに言いたいことを言えていない様子も見られる。

【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・きつねは、たぬきのことを思って正直になれたので良かった。
- ・たぬきの優しさは、きつねに伝わった。これからも友だちだと思う。
- ・自分のために、ここまでしてくれるのか。
- ・困った時には助け合えるのが友だち。
- ・友だちとお互いを思いやることはすごいと思う。自分もそんな友だちをつくりたい。
- ・友だちの気持ちを考えられるようになりたい。

指導上の工夫

板書計画（ポイントのみ）

自分自身との関わりで考えるための工夫

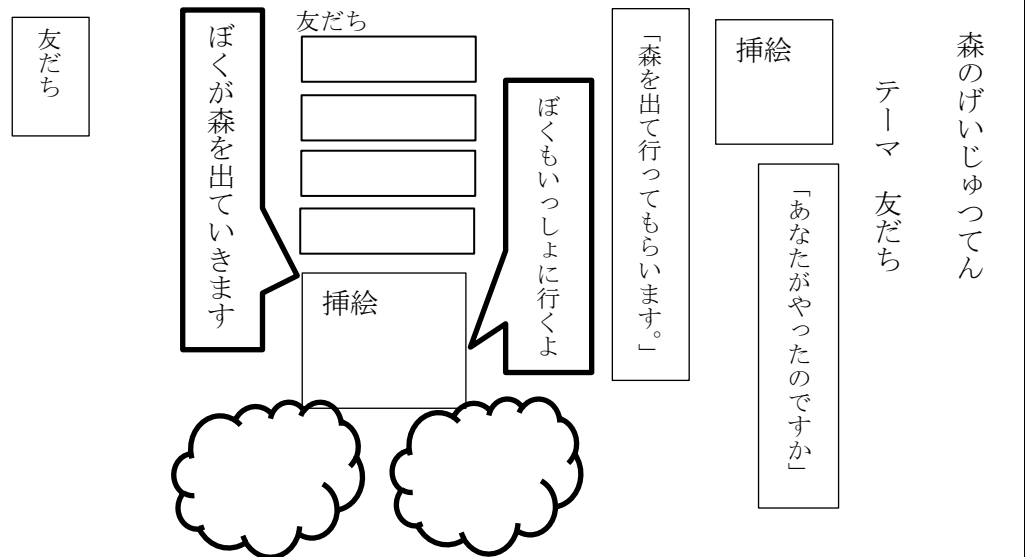
- ・教材を読んだ後の感想から、児童の心に残ったところや問いを引き出し、その後の話し合いに活かせるようにする。
- ・役割演技をすることで、きつねとたぬき、両方がお互いを思い合っている友情のよさについて実感させる。

多面的・多角的に捉えるための工夫

- ・きつねとたぬきはどんな友だちか、ホワイトボードを用いて自分の考えを發表し、それぞれが思う友だちのよさについて捉えられるようにする。

主題に迫るための工夫

- ・きつねとたぬき、双方向の友情について板書に整理し、それぞれがお互いに思い合っている友情のよさを感じられるようにする。



【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応
導入	1 前時までに友だちについて考えたことを発表する。（3分） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">テーマ：友だち</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にも友だちにも、いいところがあって、まだ知らないことや気づいていないこともある。 ・お互いに知ることで、友だちともっと仲良くなれる。
展開	2. 教材を読んで話し合う。（30分） <ul style="list-style-type: none"> ・感想をお互いの問題として話し合い、問いを引き出すようにする。 <p>○たぬきは、「あなたがやったのですか」と言われても、だまっているのはどうしてかな。 ◆うたがわれたままでいいのかな。</p> <p>○きつねは、たぬきがじっとだまっているのを見て、どんなことを考えていたかな。 ◆このまま、だまっていようという気持ちはなかったかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技を通して感じたことを話し合う。 <p>◎「ぼくもいっしょに行くよ」と言われて、きつねはどんなことを考えたかな。</p> <p>◆たぬきは、どうして「ぼくもいっしょに行くよ」と言ったのかな。</p> <p>3. 友だちについて考えて話し合う。 ○2人はどんな友だちだといえるかな。 ・ホワイトボードに考えたことを書いて、交流できるようにする。 ◆本当の友だちとは、どういうものなのでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品をこわしてしまったきつねは、すごく困ったと思う。 ・たぬきの優しさに、きつねは助けられたと思う。 ・何でたぬきは、きつねをかばったのだろう。 ・本当のことは言えない。 ・きつねを助けたい。 ・うたがわれるのは嫌だけど、きつねならきっと正直に話すだろう。 ・たぬき、ごめんね。 ・たぬきのせいにできない。 ・本当のことを言って、たぬきを助けたい。 ・うれしくて、泣きそうになった。 ・たぬきが味方になってくれて、ほっとしたと思う。 ・おどろいた。自分のために、ここまでしてくれるのか。 ・たぬきの優しさを感じた。たぬきのことを考えて、正直になれた。 ・きつねが心配。 ・友だちだから、ひとりにできない。 ・きつねを助けたい。 ・本当の友だち。・助け合える友だち。・信じ合える友だち。 ・困った時には助け合える。 ・お互いのことを思い合っている。
終末	4. 今日の学習を振り返る。 ○これまでの3時間で考えたことを振り返り、友だちについてどんなことを考えたかな。 ・ワークシートに書いて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いを思いやる友だちっていいなと思う。自分もそんな友だちをつくりたい。 ・自分も友だちの助けになりたい。 ・友だちの気持ちを考えられるようになりたい。 ・友だちのことを考えて、もっと仲良くなりたい。

【評価の視点】

- 自** きつねとたぬき、両方の気持ちに共感しながら、互いに信頼し助け合う友情のよさについて考えている。
- 多** 友だちの様々な意見を踏まえ、友だちについて考える中で、本当の友だちや友情についての考えを深めている。